

## 茨城統計第二號

### 卷頭言

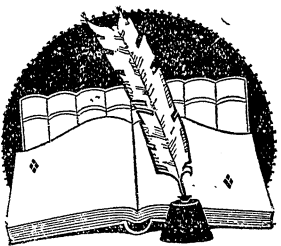
梅齋る紀元の佳節、世の龜鑑たる人々の表彰式を縣廳正廳に擧げらるゝにあたり、我等の統計功勞者は、表彰第一番の銀盃を受けてこの盛儀のトップを切つた。寔に光榮の至りである。

皇紀正に二千五百九十五年、生々發展の歴史は燦として輝き、國運益々揚る、我等心から喜びてやまざるものであるが、今日この無比なる隆昌の基をなしたるものは何か。元より上下和親、同胞協睦の然らしむるところではあるが、一つには偉大なる統計の力であつたと斷言して憚らない。

かく言へば餘りに手前味噌のやうではあるが、試みに隆々發展の跡を釋ねて見よ。社會百般の施設計畫は悉く基礎的資料を統計に求めてゐるではないか、即ちそこに統計の偉大な存在が認識されるではないか。

わが統計功勞者が、晴れの式典に、眞ツ先かけて表彰されたのも決して故なきにあらずだ。表彰された人々の榮譽は勿論、事に統計事務にたつきはる我等も亦、同慶にたへない次第である。同時に斯くしてわが統計が廣く社會に認識されてゆくことは統計思想の普及上、眞に喜ばしき極みである。

けれども諺に「勝つて兜の緒を締めよ」といふことがある。この上とも益々精勵して事務の向上發展をはかり、戴く榮冠に一段の光輝あらしむるやう奮闘を望んで己まない。



## 義公の修史事業と統計調査

茨城縣統計協會總裁  
茨城縣知事

安藤 狂四郎

不肖今回圖らずも本縣知事の重任を汚すこととなり、會則の命ずる所に依り本會總裁に就任致し、茲に御挨拶の機会を得ましたことは私の欣幸とする所であります。

茨城の地は勤王精神と共に謳はれ嘗てより私の敬慕の地でありまして殊に本年は恰も楠公六百年記念祭の執行せらるゝに際し此の楠公の忠誠を天下に顯彰せられました光園公襲封の地に任を受くるに到りましたことは又何かの因縁で洵に欣快に堪えない次第であります。

公夙に大義を唱へ、名分を明かにし、修史に勤め慶典を興されましたことは何人も周知の事實でありまして畏くも明治大帝には其の功を嘉せられ「夙ニ皇道ノ隱晦ヲ慨シ深ク武門ノ驕盈ヲ恐レ名分ヲ明ニシテ志ヲ筆削ニ託シ正邪ヲ辨シテ意ヲ勸懲ニ致セリ洵ニ是レ勤王ノ倡首ニシテ實ニ復古ノ指南タリ朕適々常陸ニ幸シ追念轉々切ナリ更ニ正一位ヲ贈リ以テ朕カ意ヲ昭ニス」との讚美の詔を賜はつたのでありまして此れは惟ふに公の光榮に止まらず我が茨城縣民の誇とする所であります。

統計調査も亦此の修史事業と一脈相通する所があると思はるゝのであります、即ち統計は國家社會に現れました

凡ゆる事情を審にしその對策樹立の資料となすものであります、之が統計を既往に就て考へますと一の歴史的存在となるのでありまして數的歴史、經濟的歴史とも稱することを得るものと存せらるゝのであります、今日統計の刷新改善が企圖せらるゝも亦此處に存するのであります。

今や我が國は滿洲事變の勃發と共に國際情勢の變革となり、之を契機として聯盟脫退の餘義無きに到り、更に華府軍縮條約の廢棄等國際上にも亦經濟上にも軍事上にも幾多の重要問題に遭遇し加ふるに國內に於ては都市と農村の別なく深刻なる不況に沈淪し、又昨年甚大なる風害と異常なる冷害とは一般產業界に一大打撃を與へ眞に國家非常の秋に際會してゐますことは諸氏の既に御承知の事であります。

此の國難とも稱すべき時に處するに當り之に對する幾多の施設計畫をなすには正確完全なる統計を必要とするとは勿論でありますから我々統計調査に従事するもの亦深く戒心して國家有用の資料の作製に努むべきであります、翻つて我國統計界の現状を觀まするに之が發達は極めて最近のものであり、國民の統計に對する知識も亦其實際も未だ甚だ幼稚であつて刷新向上を要すべき點も多々あることと存せらるゝのであります。

幸ひにして本縣統計關係者茲に感ずる所ありまして昨年十月本會を創立せられ未だ幾何ならざるに會務着々整ひ之が事業の伸張を見つゝあることは洵に御同慶に堪えざる所でありまして、聽て國家社會に大なる成果を齎すべきは期して疑はざる所であります。

希くは各位は本會の使命の重大なるに鑑み協力一致其の發達に貢獻せられん事を祈つて止まない次第であります。

## 經濟不況打開の根本方策

茨城縣統計協會長  
茨城縣總務部長

中村安次郎

過般の地方官制改正の結果本縣總務細則の一部改正に依り職制並に課の所屬の變革に伴ひまして本會會長の職も暫く缺員となりましたが、今回會則改正の結果總務部長を會長に推することに規定せられましたので茲に會長に就任することとなりました、本會の性質は本務と密接不可離の關係を有するものでありますので喜んで就任致した次第であります、諸君の御援助を得て其の任務を全ふ致すことを得ば甚だ幸ひと存するのであります。

抑々統計の必要にして大切なことは今更申述ぶる必要もないのであります、時代の進運に従つて益々其の重要性を加へつゝあるのであります、或は年報的に、或は臨時的に幾多の調査が施行せられ其の蒐集致しました資料に依つて中央地方共に夫々の施設計畫が遂行せらるゝことは各位の已に御承知の通りであります、就中産業統計は各般施設の基礎資料として最も樞要のものであります、産業行政の管掌も公私經濟の運用も一として之に俟たぬものは無いのであります。

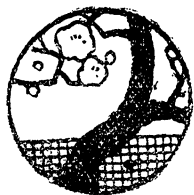
殊に近時未曾有の經濟不況に際會致しました我國の現状に於きましては之を打開する根本方策を樹立し、又種々の經濟上の難問題を解決するに當りまして産業統計の整備充實を圖る事は最も緊急の要務と考ふるのであります。殊に學事及其他の統計は如何に其の様式が複雑とは云へ公簿又は一局部的調査で調査し得るものでありますけれども産業統計は山野に散在する所の原始産業を調査するもので其の調査容體の廣汎と其の方法の複雑多岐である

ことは全く豫想外でありまして仲々容易ならざるものであります、其の爲に特に農林省令並商工省令を以て各市町村に統計調査員を設置することに規定せられて居るもので現在一市町村平均十名縣下に約三千九百名の調査員が囑託せられて居る次第でありまして、之に依つても如何に其の困難なるかを知ることが出来ると思ふのであります。

本縣に於きましては各調査員共熱心に事に當らるゝ結果、總ての調査が殆んど正確完全に施行せられ本事務上では全國中でも優秀縣の内へ數へらるゝに到りましたことは誠に欣快とする所であり、併し乍ら一般民衆の之に對する理解未だ充分ならず且調査方法等に於ても刷新改善を加ふべきことと多々あることと存せらるゝのでありますから此の點に關しましては今後各位と協力一致して充分の効果を擧げ以て本會の使命に邁進せんとするものであります。

殊に本年は國勢調査も施行せらるゝことでもありますから今より充分なる準備と周到なる注意を以て前回に劣らぬ成績を擧ぐるに努められたいのであります。

正しき調査は御國の譽れ  
百政の基も正しき調査より  
確かな統計、遅るな期限  
悪き統計は凸凹鏡の如し  
百の企劃も統計の一步より  
暗夜に燈臺、處世に統計



## 經濟更生計畫と基本調査に就て

茨城縣農林技師 櫻井茂男

農村の疲弊其の極に達し、時局匡救の要急迫を告げて以來時を経ること早くも三年、我が農村經濟の不況未だ容易に去るべくもない。今や内外の時局益々多事多端にして、内に健全なる國民生活の維持を必要とする時、國本たる農村の匡救は其の要愈々緊切を加へつゝある。

而して現時の農村不況を打開するには、幾多の方法が存するけれども、之を要約すれば二点に歸着すると思ふ。即ち農業者自身が奮自勵以て難局打開に邁進すること、國家若くは公共團體が側面的に農業者自身の力の及ばざる点を助成することである。所謂自力と他力とを併せ行ふことである。農産物の價額維持とか、負擔の軽減などの事柄に就ては、農業者自身の力の及ばざる所であるから、國の政策に依つて之を行ひ農業者を保護すべきであつて、之等は即ち他力に依る農村更生策であるが、農業經營の改良とか、生活の改善の如き内部的問題は農業者自身の自覺と努力によつて、即ち自力によつて改革すべき問題である。今日農林省首唱の下に、全國各府縣に於て行ひつゝある經濟更生運動は即ち是である。其の要旨とする所は如何にして農家の收支均衡を保つか、即ち如何にして収入を増し、如何にして支出を減する事が出来るかを主眼とするもので、之がためには農村部落古來の美風たる隣保共助の精神を活用し、一致協力して單に農林業の生産技術の改善に留らず、農村の産業及經濟の全般に亘り一定

の計畫を樹て組織を設けて、其の改善刷新を圖ることが必要であるとしてゐる。

斯の如く經濟更生の事業は、其の村に於ける産業及經濟の改善計畫即ち其の村の村是を定めて實行すべきものにして、之が計畫樹立には特に町村吏員、小學校教員、農會産業組合の役職員、實行組合長、青年團長等を以て町村經濟更生委員會を組織し、最も慎重に立案する必要がある。

計畫の内容は其の町村の實情に照して、最も適切且つ緊要なる事項を委員會が討議決定すべきものにして、徒らに他を模倣すべきものにあらず、従つて劃一的に定むべきものではないのは勿論なるも、一般的事項を擧ぐれば、水田裏作に菜種、蔬菜、綠肥等を栽培するとか、或は又宅地空地に果樹蔬菜を栽培するなど土地利用の計畫、堆肥綠肥等自給肥料の増産、或は醬油其他生活用品の自給など所謂自給自足生活の獎勵、産業組合農業倉庫の擴充活動を計り、生産物の共同販賣並に肥料其他經營用品の共同購入計畫、冠婚葬祭其他農村生活の改善、各種貯金の普及獎勵、農村教育の刷新、農會、産業組合、青年團、公民學校等各種機關の連絡活動計畫等、生産、經濟、教育、社會の各方面に亘り講究せねばならぬ。

然しながら經濟更生の成果は、計畫にあらずして實行である。故に余りに理想に走りて計畫の多岐に亘るは却つて實行不徹底の嫌なしとせぬ。されば最初の計畫には其の土地に最も適切なる然も實行性のある項目のみを採り入るべきである。

如何にして其の町村の實情に即したる、最も適切なる計畫を樹てるか。それには先づ其の町村の現状を悉知せねばならぬ。即ち名醫は病人に對し投藥する前に先づ充分に聽診打診によりて、其の病狀を確かむると同じく、經濟

更生に於ても、計畫を樹立する前に先づ其の町村の診察を行つて、如何なる点に欠陥があるかを知らねばならぬ。基本調査は即ち其の診察である。基本調査のなき計畫は抽象的計畫に止まり、具体的立案を爲し得ない。村の憲法ともなる更生計畫を樹てるのであるから、如何なる理由で斯かる計畫を樹てねばならぬかを村民に諒解せしむるに足る調査でなければならぬ。

調査の項目に就いても計畫の主眼点を何處に置くかによつて異なるけれども、一般的には尠くとも左記項目の調査を整へる必要がある。

- 一、人口戸數職業(戸口増減の状況、職業別戸數、自小作別戸數)
- 二、土地(所有別土地反別、土地所有の他町村關係、土地所有並に耕作地面積別戸數、土地利用状況)
- 三、勞力(農林漁業従業者數、雇人及出稼數)
- 四、農林漁業用器具機械設備状況
- 五、生産(耕種、養蠶、畜産、林産、水産、加工品)
- 六、經營用品及食糧品の自給と購入關係(肥料、飼料、種苗、薬工品、米麥、野菜、味噌醬油等)
- 七、販賣購買の状況(共同販賣、共同購入の割合)
- 八、家計費(被服、飲食、交際、教育等の經常費並に冠婚葬祭費等の臨時費)
- 九、貸借關係(貸金預金貯金及借金)
- 十、町村財政

以上項目の内人口、土地に關しては、町村役場或は農會等の公簿によつても知り得るし、又生産に關しても農林統計によつて相當明細に調査が出來てゐるが、其の他の項目に就いては、どうしても戸票調査の方法によつて新た

に調査せねばならぬ。就中勞力調査の如きは農業經營の改善上是非共行はねばならぬ事項である。即ち我が村に農業に働き得る勞力、所謂供給勞働量が如何程あるかを調べることは、村内の農業状態より見て勞力が余るか不足するかを知り、若し余りあるならばそれを如何に利用するか、如何なる副業を奨励するか等を考する資料として必要である。

## ○

次に農業の經營に必要な肥料や飼料の購入と自給の割合はどうなつてゐるか、農家に於て自給し得る繩俵等の薬工品や、味噌醬油或は蔬菜などで購入してゐる數量がどれだけあるかなどを調査して、なるべく自給自足の計畫を樹て金錢支出の節減を圖ることなどは、更生計畫上最も大切な事柄である。

基本調査中で最も調査に困難を感じるのは負債の調査である。然しながら經濟更生と負債の整理とは不可分の關係にあるから、預金と負債は萬難を排しても各戸につき調査する要がある。勿論この資産状態の調査の如きは何人も極力嫌ふ所であるから、無記名申告の方法を採らねばならぬ。現に縣下の經濟更生實行町村に於て、従來行ひたる方法を見ても、記入用紙と封筒を配付して、直ちに嚴封するとか、或は又部落毎に投票函を廻して之に申告せしめ、役場に於て開封し一般には絶体に知らしめざる方法を講ずるなど随分苦心してゐる。

然しながら一般に調査の訓練に乏しき農村に於て以上の如き戸票調査を行ふことは、或は課税の材料になるのではないかなど、種々の誤解を招く恐れがある。依つて調査を始むる前に、如何なる理由で斯かる調査を行ふのか其の趣旨を充分徹底せしむる必要がある。然らざれば折角の調査も正確を期し難い。尙調査に當りては部落の實行組長、統計調査員或は青年團員など成るべく多數の調査員を設けて萬遺漏なきを期せねばならぬ。基本調査即ち診斷が正しければ正しき程、村の實情に即した立派な計畫所謂村是を樹立し得ることは前記した通りである。



## 統計模範村を訪ねて

### 北浦沿岸の理想郷 儒教に生くる大同村

一 記者

その日午前九時、福島に赴任される我が協會の前會長乾事務官を水戸驛に送つて銚田行の自動車に乗る、アト五日で舊のお正月を迎へるのだ、途中つぎ／＼に乗り込む人々の顔にも、沿道の家並にも、おらが春を待つ忙はしい面影がくつきり浮び出てる。

銚田へ着く頃には氣つかはれた夜來の雨も朗かに晴れて春らしい和らかな陽が土煙りを立てさうだ。

銚田の終点でありるとゆくりなくもこれからお訪ねしようとする大同村の村長菅谷五郎氏がそこに電話をかけてをられた。菅谷氏は土木出張所に用事があつて來られたのださうで氏の東道で再び自動車を北浦沿岸に走らせた、自動車の中には大きなダルマさんが持ち込まれた、よき年を迎へんとする縁喜のシムボルド。

北浦には網を曳く白帆が点々と浮いてゐる、崖ぎわの梅は

今を盛りと匂つてゐる、水戸邊からみると約一ヶ月は早からう。

#### 整つた事蹟簿

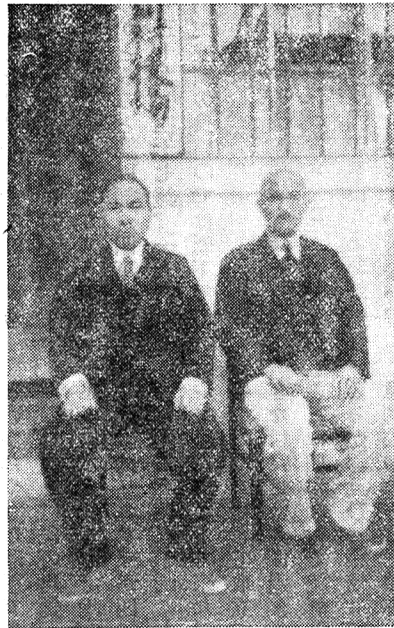
立派な一冊の書物だ

大同村は鹿島郡の中部にあり、東に太平洋を控え、西は北浦を隔て、行方郡大和村に相對し、東西一里二十町、南北二里十町余、十一の大字から成り本縣における屈指の大村で戸數一千四十一戸、人口五千六百三十六人、男よりも女の方が約百人ばかり多くなつてゐる、かうした大村だから駐在所も二つ、學校も二つある。役場は大字津賀の縣道筋にあり見るから瀟洒な建物で、一田圃を隔て、北浦がひろ／＼と開け、（まなと）漁る人の手練の程まで手にとるやうに見える、玄關にはいると早くもそれと知つて統計主任の大崎健爾氏がニコ／＼と迎

へてくれた。

大崎氏は青年會長時代から統計事務に執掌されたさうで、イガグリ頭にお粗末な洋服を着けたガツチリした人、これならば調査員の指導も存分に出来るだらうし、屹度活潑な働きをするに違ひないと肯かせられた。更に導かれて應接室へはいると「事在执行」の大きな

額と、二宮尊徳先生の肖像とが掲げてある。その額の額で——尊徳先生の順和な面影の下で、私共はこの村の事蹟を聴いたり、種々な統計書類を拜見したりしたその書類や帳簿の整つてゐるには先づ一驚を喫せざるを得ない、事蹟簿の如き實に立派な一冊の書物だ、ノ



向てつ菅谷村長・同右大崎主任

#### 滞納僅か五十錢

縣下で屈指の優良村

て來る、これでこそ統計の効果、統計の有りがたさがわかつて來るのだ、かうした資料を見せたり、説明したりすると統計が間違つてゐるなんて、恐らくそんな異論は起らなくなるのぢやあるまいか。

昭和九年の調査によるこの村の戸數は前にも述べておいたが十一大字で一千四十一戸、人口五千六百三十六人（内男二千七百八十九人、女二千八百四十七人）無論農業が主で自作農が百六十戸、自作兼小作が三百二十一戸、小作農が四百二十戸計九百一戸で商業が二十戸、水産業が八戸ある、こゝでちよつと目につくのは樺太に出稼いでゐるものが男七十九人、女四十二人計百四十一人もあることだ夫婦共稼ぎもあれば家長だけが單獨に働いて來るものもある、何れも漁業に従事するもので、つばくらは春來て秋かへるものだが、是はまた春出て冬かへるのが通例になつてゐる、四五月の候に遙々彼の地に渡つてお正月前に百五十圓から二百圓近くの金を懐ろにして懐しの我家へ戻つて目出度い春を迎へるのだ、家族の者はその間に或ひは農事に、或ひは漁業に營々として良人を——父を——待ち／＼働いてゐる、従つて

良人や父が稼いで来ただけでは生活の餘分になつていくといつた具合ひでなか／＼裕福である、その證據には隣村白鳥では何萬といふ程滞納があるといふのに大同村には五ヶ年を通算して僅かに百八十圓の滞納しかない、昭和九年などは五十五錢の家屋税が滞つてゐるだけだ、それも一家樺太へ出稼ぎして不在のためで、戻つて来さへすればスグに納まるといふ。菅谷村長の曰く「税金が滞るなんてそれは滞る者の罪ばかりぢやない、爲政者の重大な責任だ、納めるやうに村を統へていけば必ず納まる」と、まことに至言といつてよからう、然らばこの村の税金はどんなものかとみると總税額が四萬九百三十四圓七十四錢で、一戸當り三十九圓四十七錢、一人當り七圓二十八錢になつてゐる、納税成績の良いのでは縣下でも指折りの部に屬してゐる。

### 全村民元旦の誓ひ

#### 借金を村から追拂ふ事

それならこの村には借金がないかといへばさうでもない、村全体で五十五萬圓、一戸當り約六百圓の負債がある、どうして借金を出かしたかといへば大部分が暮し込みで結婚費なども相當に祟つてゐる、そこで菅谷村長は何とかしてこの借金を村から拂ひのけてしまはうといふので負債整理組合を村内五ヶ所に設け負債償還迄月掛十錢つゝの貯金をなし、一方

經濟更生の一助として宅地を利用して栗を植付け、毎年一月元旦鎮守の森に集合して神前に償還計畫を過たざることを誓ひ、昭和七年以來これを實行してゐる。然し他村に比べると貯金も多く貸金も相當にある、これと借金とを相殺するとたしいた開きもなくなるだらうと大崎主任はいはれてゐた。一体この村は瘦地で農作物の收穫極めて少くたゞ食つて通るといつたやうな状態であつたが村農會が設立され指導宜しきを得たのと村民の自覺とにより、漸く收穫を増し、一方水の恵みに水産物も漸次増額し、鯛の一萬六千七百十圓を筆頭に北浦ではワカサギが四千七百五十圓、ウナギが千四百七十圓等年産二萬四五千圓に上つてゐる。その他養蠶業なども近年やゝ盛んになつて来たが、それとてほんの片手間の小使取りにやる位で總じて取立てゝ特記するほどの産物もなく、唯大きな村だといふに過ぎないが、人情敦厚、儀禮よく整ひ、まことに平和な村で統計調査員の如きも潑刺たる青年に委せてゐるが、互ひに相倚り相扶けて正しく早くをモットーに、一意御國のためにとつとめてゐる。

### 字の名に孔孟の教

#### 先人の餘薰今に遺る

この村の大字青塚には仁、義、禮、智、信、峰、文、貞、信、縦、砂、忠、横、孝の十三小字がある、大字角折には忠、信

孝、悌の四小字がある、貴ぶべき人の教へを地名に織り込んで、言はず語らずの間に崇高なる人格を養はうとしたもので郷土愛はこゝに生れ、隣保親善の美はかくて植ゑつけられた古來この地には學者が多く孔孟の教へを引いて部落民を導きその餘薰を今に遺したといはれてゐる。小學校へ行くと孝子多市さんの旌表碑といふのがある、先年孝子として表彰され御下賜金を拜受した久保多市さんの彰徳碑で多市さんは茲年五十五、現に青塚區長をつとめ、曩きには青年會長、隣保組合長等の要職につき村の龜鑑と仰がれてゐる。かうして現存

せる孝子の旌表の碑なんて珍らしいぢやないか、こゝにも床しい村民の氣持が窺はれるのである。尙ほ大字角折は往昔日本武尊東征の際、この濱に御假泊遊ばされたが飲料水がないので鹿の角を折つて地を掘り、漸く清水を得て尊に奉つたといふ古事より出たもので、現に角折坂とて滾々として清水のわき出づる鹽地が存してゐる、このあたり鹿島神宮外苑つゞきで昔は鹿が澤山棲んでゐたとか。大同よ、願くば永遠にこの平和を持続してくれ、傳はる事蹟をくつがへさずに――。

### トテ馬車通ふ奥久慈に

## 何と統計調査の鼻祖



### 町田商相遠祖の地・染和田

更に南から北へ――。  
土煙りきへ立つかと思はれる北浦湖畔の大同から、北風寒  
い久慈の染和田へ――。暮の農村を風の如く行脚した。

何といふクラシカルな光景であらう。私共の行く手には赤塗のトテ馬車が、國粹を誇るかのやうに悠々と、威容を整へて大子街道を濶歩してゐるではないか、春の仕澤を調べに太

田を目ざす若い娘達がギツシリ詰め込まれてゐるではないか宿場々々で馭者は何十年か吹きなれたラツバを合圖して、ひたむきに走る馬に勢ひつけるのだ、繪にみるやうなかうした光景を今の世に窺ひ知ることの出来るのも旅の功德とでもいふが、寧ろ棄て難い情景にこそ。

かくて御維新當時そのまゝの街道を、助さん格さんの道行きなどと思ひめぐらせつゝ山田川に沿うて北へ、北へ。

途中山田村には國立煙草試験場がある、そのモダンな建物とトテ馬車とは、似ても似つかぬ對照だ。やがて私共の自動車はいつしか染和田村役場の門前に止つた。この染和田こそは河北における統計調査の鼻祖といはれてゐる。

太田からトテ馬車にゆられ、二時間も行くところのこの染和田が、國運進展、國民幸福の根源をなすところの偉大なる統計について今から十四五年も前に頗る完備した基礎的調査を行つてゐたといふのだから、寧ろ奇蹟といつてもよからう。

### 是れこそ鬼に金棒

#### 名村長のもとに名主任

役場書記後藤重一氏の所藏する舊記によるとこの地、もと町田刑部太夫が二十五貫の知行を受けたところで、大字町田の鹿島神社裏手には城砦の跡といふのが残つてゐるが、慶長

十七年刑部太夫秋田に國替へしてその後の消息は詳かでないこの刑部太夫こそは現商工大臣にして最近民政黨總裁になられた町田忠治翁の遠祖に當り、先年町田翁は先祖の墓をたつねてわざ／＼この山村迄出向はれたさうだが今尙ほシカとした證據は得られぬらしい。



菊池村長

村長菊池信章氏は郡内切つての名望家で、學識高く少壯有爲の紳士である、酒造業を營み、兼ねて中村哲藏氏の後を享けて水府煙草生産同業組合長として特産名葉の改良發展に努力し、

最近聲價を高めつゝある米葉の今後における進展如何は一に氏の手腕に待たれてゐる、この名村長のもとに多年一日の如く村長の最もよき補佐役として、また統計事務の主任として本縣における統計の元祖とまで謳はれた鈴木榮一氏は事實染和田の生字引といつてもよからう、やゝ薄らぎかけた頭を一つ應場に振り立てると村勢手に取る如く浮び出て、あそこの家には鼠が何疋居て、來月は何疋に殖える迄スツカリ判る、氏は先天的に統計趣味を持合せて來たものらしい。勿論その熱誠と俊敏とがこれを哺育したには違ひない。

### 十數年前統計調査

#### 並々ならぬ當時の苦心

私共が役場へ行つて一つ統計の古いところからお話を承りたいといふと、よし來たといはぬばかりに抱へて來たのは「米實收高調査票」といふ大正十年かの謄寫版刷りの小票だ、申上ぐる迄もなく統計調査方法は昭和三年三月に改正され翌四年から實施されたものだが、染和田は隣村賀美と共にその七八年も前からいろ／＼な用紙を獨創考案して如何にして正しき統計を得るかに腐心し昭和二年には立派な活版刷りの用紙が出来てゐた、これを各戸にくばつて何時何日迄に役場へ届けるやうにと頼んで歩いた、すると村民は大恐慌を來たすやら、中にはカツ／＼と湯氣を立て、憤慨するものもある。

「役場の奴等あんなことをして税金でもあげる算段だらう」「人の財産を調べるなんて飛んでもない」

異句同音に力みあがつてとても應じてくれない、たまに書き込んで持つてくるのをみるとまるでいゝ加減なものだ。

これでは何とも仕方がないといふので更に宣傳ビラを作つて各戸に配るやら講演會を開くなどして先づ統計とは如何なるものかを村民に飪味させることにした。その宣傳ビラは赤と黒の二色もので

#### 一、統計は社會の羅針盤なり

- 一、正確なる統計は國家の鞏固を致す
- 二、統計は社會の明鏡なり
- 三、統計は統計のモットーを掲げ
- 四、統計は何の爲に調べますか
- 五、統計調査の範圍及び時期
- 六、統計は如何にして調査しますか
- 七、統計は決して他に洩さず、又税金等に關係はありませぬ
- 八、四項目につき口語体で丁寧な説明を加へ、社會百般の基礎をなすものは統計であり、これによつて適確なる政策が樹てられ、國運の前途に重大關係を有するものであるからありのまゝを正直に申告してお互の幸福を圖らう、統計は統計上の目的以外に使用するやうなことは斷じてしない、又しようとしても出来ないものであるから安心して事實を申告するやうにと細々注意を個條書きにして配りそのあとから戸別訪問をして更に趣旨を敷衍する、斯くすること魂氣も強く一年余に及ぶとやつと村民も判つて來た。
- 九、「何程統計といふものは税金などに關係するものぢやない、村の勢力がわかつて來て大變結構なものだ」
- 十、感謝の言葉をすら聞くやうになつたといふ。かう迄するには鈴木主任の努力苦心は勿論並々のものではなかつたが、菊池村長も頗る理解ある方で鈴木氏の熱意を容れて大いに之



れを助長し役場で毎日使用する封筒にまで統計を印刷して

一、村の発展は住民の勤勞と協調にあり  
と教へ、村の面積は幾何、耕地面積は幾何、廣袤はどれだけ  
米、麥、煙草の收穫戸數、人口、村豫算、基本林から私有林  
等まで従來の呼方とメートル法と二つに明示して普ねく我が  
村の勢ひを知らしめたりした、まことに利用價値のある妙案  
だ。宜なり、この苦心が報るられて大正十四年の紀元節には  
主任の鈴木榮一氏が先づ表彰され、次いで昭和二年には調査  
員の河井鐵之介氏が同様榮譽を荷うた。そして三たび今度の  
譽れだ。獨り關係者のみの名譽ではない實に村全体の大きな  
誇りである。

### 名産西ノ内と煙草

#### 年産實に十七萬圓

染和田は古來製紙「西ノ内」の名産地である、楮を材料に今  
も尙ほ手漉でやつてゐるが機械工業に壓迫されて本場ものゝ  
西ノ内を使用するものなど極めて少く、唯一の頼みとしての  
た選舉の投票用紙すら擬物まがひものが現はれて誇る國産品は次第に虚  
けられてしまつた、全盛の頃には村内二十戸の同業者で年産  
一萬圓を越えたといふのに今日では僅かに四千圓内外である  
西ノ内と共に有名だつたのは所謂「赤土」で知られた葉煙草

である。現在戸數六百九十戸(人口三千三百八十三人)の内五  
百三十六戸は葉煙草耕作者で、昭和三四年頃には年産總額二  
十一萬圓を突破した、その後賠償價格の低下等により一時類  
勢を示したが菊池村長等の熱烈なる指導により再び盛り返し  
て九年度には十七萬圓、一戸平均三百余圓の收入となつてゐ  
る、何しても煙草は本村における主要産物で、作付反別及び  
收穫高からみると次は麥である、八、九兩年度における麥の  
反當收穫高を左に記してみる、

作物	八年度收穫高		
	上作柄地	中作柄地	下作柄地
大麥	田作 三〇、一	田作 二〇、五	田作 一三、二
小麥	田作 二〇、〇	田作 一四、一	田作 一三、二
裸麥	田作 二〇、〇	田作 一八、八	田作 一〇、〇
大麥	三〇、〇	二〇、〇	一三、二
小麥	二〇、〇	一四、一	一三、二
裸麥	二〇、〇	一八、八	一〇、〇

#### 九年度收穫高

### 働き盛りの調査員

#### 烈々たる不斷の努力

かくて理解ある村長、かくて熱心なる主任者のともに、  
更にその手となり、足となつて働かれる調査員諸君はどうか

「調査員は若い人に限る、若い人には熱がある、閃めきがある、責任感も強いし、正義感も強い、その熱と閃めきが一種の競争意識を喚起させて自然職務に勉強することになるのである」

菊池村長が持つ熱と閃めきをそのまま調査員に映してゐるやうに村長さんはいはれた、試みにこの村の調査員の氏名と年齢とを掲げてみよう。

第一區	後藤 惣	吉君 (四三)
第二區	小林 俊	武君 (三六)
第三區	川又 朝	行君 (五一)
第四區	石川 健	吉君 (五二)
第五區	白石 要	治君 (四三)
第六區	高須 鐵之	藏君 (三七)
第七區	會澤 正	介君 (四二)
第八區	和田 達	正君 (四一)
第九區	吉田 達	司君 (三九)
第十區	豊田 貞	靜君 (三四)
第十一區	金澤 吉	次君 (五八)
第十二區	河井 鐵之	平君 (四一)
第十三區	中野 德之	介君 (五七)
第十四區	椎名 誠	介君 (四一)
第十五區		君 (四二)

多くは四十前後の働き盛りだ、進んで正しき統計を得るために不斷の努力を費してゐる、第九區の和田君の如きは更に多忙なる身をさいて、水府煙草の生産について科學的研究を重ね葉煙草耕作上に一新機軸を示すやうな素晴らしい統計を作りあけるだらうといはれてゐる。

### 村の宿屋にのこる

#### 東湖先生の飲み證文

最後に再び歴史をくりかへすが安政の初め文武館と稱し、水戸の弘道館の如き文武修練の道場があつて藤田東湖先生なども來られたことがある、殊に東湖先生はこの村の前村長川上亮毅翁の父川上謙之助翁とはその以前から肝膽相照してよく飲み、よく談じ、村の「てんま屋」といふ旅人宿では流連荒亡遂に囊中全く盡き、一札を入れて引あげたことがある、東湖先生飲み勘定の證文が今も村の或る人の手に秘藏されてるさうだ。

助役後藤寅之介氏の父君道之助翁も有名な學者だつた、助役さんは郷土史の研究家だ、是非共その豊富なる研究のあとをたつねたかつたが、何か差支があつて見えられなかつたのは返す／＼も残念である。

辭して街道に出ると、さつきすれちがつたトテ馬車が客を滿載して黄昏の宿を天下野へ急いでゐた。——終——

された統計事務

研究会談會

視 題 問

日時 昭和十年一月十六日  
場所 多賀郡黒前村役場樓上

出席者

縣廳側 統計課成瀬瀨、富岡囃託  
多賀南部統計事務所研究會側 顧問(河原原子町助役)鈴木徹△會長(坂上村助役)  
丸山寅松△副會長(黒前村助役)弓野民彌△幹事(坂上村書記)田村實△會員(河原  
子町統計主任)黒澤百男(國分村同)長山惠(鮎川村同)黒澤定男(助川町同)鍋木昌  
儀(日立町同)大内健司(日高村同)根本直弘(豊浦町同)吉田靜(楡形村同) 椎名 昇  
(黒前村同)根本良春 外に黒澤村長石井啓之諸氏

常磐線川尻驛から年代物の自動車に  
はみ出すほど積み込まれて多賀高原の  
高原へ行く。同行は縣統計課の成瀬瀨  
この日、一月十六日、お正月の藪入  
りだといふのに天つれなく、水雨さへ

降つて藪の雀も聲をひそめてゐる。  
自動車は山裾をくねりくねつてこの  
日の會場である黒前村役場に着いた。  
縣道にこそ沿つてをれ、腹背に山を控  
へた一軒家のやうな役場である、普通

役場といへば、少くとも近所に飲食店  
や煙草屋の一軒位續き合つてゐるもの  
だが、茲には何んにもない、村長さん  
の話によると、も少し奥の部落へはい  
ると酒屋へ三里、豆腐屋へ五里といふ

のだから従つて質素、従つて淳朴、酒  
などは年に一度か二度しか飲めないも  
のにきめてゐる、豆腐などはレンジロ  
にすべきものと考へてゐないさうだ、  
村長さんも助役さんも毎日役場迄片道  
三里づゝ、往復六里の道をモンペイは  
いて通ふわけである、羽織袴なんて、  
生やさしい姿でなんぞ、とても歩けや  
しない。  
助役さんの言葉をそのままに受けつ  
ぐと

『それでも近頃文明の利器が出来て  
自動車といふ恩恵に浴することには  
なつたが、その自動車も誠に時間が  
わるくて、來るのには朝の七時、歸  
りは午後二時——まさか二時にひけ  
るわけにもいきませんでツイ持合せ  
の二本の脚にたよるより外に仕方が  
ない』  
といふから文明の利器も場所によつ  
ては甚だ心もとない。  
申しおくれたが黒前村は本縣におけ

る冷害の最も甚たしかつたところであ  
る。

この山の中の黒前に、寒い高原の村  
役場に寒雨を衝いで多賀南部における  
統計事務の精銳が相寄つて、如何にし  
て統計の權威を認めしめるかを研究し  
たのだ。集つた人達は何れも五年も十  
年も各自町村の統計事務にたつさはつ  
て町のために、村のために、向上發展  
の基調を整へられ、村勢町勢の動かざ  
る基準を作りあげられた所謂村の礎で  
あり、町の礎である。

しかもその統計たるや昨年の通常縣  
會において米の收穫豫想のことから端  
なくも調査過大の論議を醸し、茨城縣  
會はじまつて以來未だ會てみたことの  
ない興味ある論争を展開させたことは  
縣民の最も記憶に新たなるところであ  
る、しかも結果においてこの論争は枯  
淡蟻を噛むにもたとへられた統計の眞  
價を周知せしめ、統計の責さ、重要さ  
に廣く關心を持たせたことによつて頗

る効果的であつたともいひうるもので  
この日の研究會談會もこれが一つの刺  
戟となつて、集まれる人々の眉宇の間  
には期せずして固い決心、固い約束が  
刻み込まれてゐるのが觀取された。  
さうした緊張のうちに會は先づ成瀬  
瀨の挨拶によつて開かれた、水雨さら  
／＼と窓を叩いて亟寒凜烈。

成瀬(縣廳) 先般統計協會が組織され  
茲にはじめて皆様と共に統計事務所研  
究の座談會を開き、これを協會の機  
關雜誌に迄掲載するの運びにいたり  
ましたことは寔に同慶にたへません  
かうして我々のたつさはつてをりま  
す統計が斯様な發達をみるにいたり  
ましたのは勿論皆さんの御努力の結  
果にもよるのでありまするが、かう  
した勢ひは人の力によつてのみ作ら  
れたものではなく、いはゞ自然の  
勢ひである、自然が統計をして斯く  
なさねばならなくしてくれたのであ  
ると思ひます、私共はこれに向つて

更に最善の努力を盡し研究し精勵してこの自然の勢ひを益々伸ばしていきたいと思ふのであります。

### 鬼ヶ島征伐のキビ團子

長山(國分) 私はこの際、キビとモロコシについておたつねしておきたいと思ひます、私共の方ではキビはモロコシと同一種のやうにいふ人もありますが果して同一のものでありませうか、彼の桃太郎が鬼ヶ島を征伐に行く時、腰にブラ下けて行つた日本一のキビ團子はモロコシで作つたものでせうか、又別にキビといふものがあるのでせうか、普通いふキビ團子はモロコシの粉で作り、『黍團子』と書き、岡山の名産キビ團子は『吉備團子』と書いて文字迄が違ふやうにも聞いてゐますが……

根本(黒澤)鈴木(河原子) モロコシとキビとは全然違ひませう、モロコシは粒が大きく、キビは稲の穂のや

うになつて細かな粒のをいふのでせう、桃太郎が犬にやつたり、猿にやつたりしたといふのはアレはほんとの吉備團子でモロコシで作つたものではありますまい、それこそ所謂吉備の名産で、風味といひ、ウマさといひ、慥かに日本一だといふことです。

### 統計今昔物語り

成瀬(縣屬) 只今の御説の通りキビとモロコシとは全く別種のものゝやうに考へます、ではまた前に戻りますが、われ／＼のこの統計事務も今日では秩序ある一つの體をなしてをりますけれども以前は随分いゝ加減なものであつたらしい、殊に郡役所廢止前の統計と廢止後の統計では雲泥の相違があるやうに思はれます、細則改正前の統計に就て、古い處で丸山さんから一つお話を承りたいと存じます。

丸山(坂上) 古いといへますれば河

原子の鈴木さんが統計事務には一番古いし立派な経験あるお方でありますが折角の御指名ですから概要をかい摘んでお話しませう、私は大正十三年から勸業事務にたつさはつてをりました、統計事務については最初形式的に三名の調査員を置いてみたが統計の思想もなく、また知識も乏しく何としても働かない、期節々に調査員に頼んでも何時迄たつても更に報告がない、それで仕方なく私は草鞋脚絆で村内をかけ廻り、或ひは精農家を歴訪するなどして材料を蒐め報告書を作るやうにしてみました、その結果は大した過りもなく當らずとも遠からず程度に出来たやうでした、處が郡の方では私の村の統計は大變評判になつて川崎統計課長が郡役所へ來られて郡内で統計事務の一番いゝのはどこかと訊ねられた時、郡では坂上がいといつ

たとかで、川崎さんがわざ／＼役場迄來られました、私の作つた統計

を御覽になられて『表の上では大變よく出来てるやうだが肝腎な材料がない、一体この統計は何によつて作つたか』といはれたのを今もよく記憶してゐます、全くさういはずとお恥かしい次第ですがこれといふ材料はない、こんなところで大した違ひはあるまい位に考へてデツチあけたものなのです、全く郡役所時代の統計は當らずとも遠からず位で通つてゐたものです。

成瀬(縣屬) その時代には毎年同じもの——昨年も是々だから今年もこんなものだらう——位に扱つてゐたところも随分あつたらしい、また郡役所の方でも一向無關心で報告のない町村は前年の綴りをみてそのまゝ轉載してゐたやうな話もございいます今日各町村の事蹟簿をみますとその傾向がハツキリわかります、まこと

に今昔の感にたへません。

丸山(坂上) 昔の統計は全くウソ八百を並べて平氣だつたのですね。

鈴木(河原子) それでもあましまし當つてゐたから奇體だ。

椎名(楯形) いゝ加減でピツタリ合つたりするものだからソソナに一生懸命に統計などやるものぢやないなんていふ調査員が出てくるのですね。

### 各地各様な苦心談

成瀬(縣屬) 出鱈目が何時も／＼當るならいゝかも知れぬがハツレた時は取りかへしがつかない、適確な材料のもとに作つたものであれば何時如何なる場合でも非点の打たれよう筈がないのです、次に河原子の耕地圖は大變立派なものです、これが作製に就て鈴木さんのお話を承りたいと存じます。

鈴木(河原子) 私の町の耕地圖は規

則が發布されこれが實施の始めにあたり役場の字切圖を基礎とし私と三人の臨時雇が二十日ばかりかゝつて作つたのです、調査員にはめい／＼持たせて移動したものはその都度地目變換をさせることとしてあります、經費は五十何圓かかゝつたやうですが、これをみますと耕地が一目瞭然とします。

成瀬(縣屬) 何時か農林省の堀口さんが見えられた時の圖面には異動が記入してなかつたさうですがあれはとつときの材料で保存でもしておいたわけですか。

鈴木(河原子) ウム、ナニ、あれは……  
成瀬(縣屬) あ他に圖面が出来て居るのですか。

鈴木(河原子) いやあれを削除して居るのです。

成瀬(縣屬) この黒前村などは交通が不便ですから調査や指導には餘程

苦心されるでせうね。

**根本(黒前)** 御覽の通り私の村はかういふ山間として部落が轉々としてゐますから一つの通知を出すにしても山から山へ、谷から谷へと部落を拾つて行かねばなりませんし、従つて調査も面倒であり、報告も容易でないのです、調査員なども非常な努力をするのですが骨折つても効果が上らないから勢ひ疎かになる、飽きがかかるといふことにもなるのです、最近自動車の便が出来てある部落などは便利になつたが山陰の部落などは依然困難でして豫想以上に苦心をされてゐます。

**成瀬(縣屬)** 調査員が自分の持區を歩くのに何日位かゝりますか。

**根本(黒前)** 唯歩くだけでも三日はかゝりませう。

**長山(國分)** 黒前村の耕地は幾らぐらゐりますか。

**根本(黒前)** 田が二百町八反歩、畑

が百十町九反歩ばかりあります。

**弓野(黒前助役)** かうした不便な處ですから調査員も自然横着になりがちで二三困つてゐるものがあります。幾ら督促しても報告を持つて来るぢやなしウソだともツブれたとも一向返事もない、仕方ないからこちらから行つて出させるやうにしていますがさうすると仲間に不平が起きてくるあんな横着な調査員にナゼ手當などやるのかといはれるんで全く閉口です。

**長山(國分)** 調査員一人の受持は何町歩位ですか。

**弓野(黒前)** 多いので二十三町歩、少いのになると六町歩位です。

**成瀬(縣屬)** 日立の大内さんは米調査にたいそう苦心されたさうですがその苦心談を御披露下さいませんか。

**大内(日立)** 別段苦心といふことはありませんが、御承知の通り日立といふ處は農村であつて半ば工業地帯

使つて集計するとピツタリあうやうです。

**成瀬(縣屬)** 小票のいゝことは認めるがこれは全國的には使用されて居りません、此れを農林省が採用して呉れると宜しいのですが、この用紙を農林省が呉れることになると非常に經費がかかるので出来ないだらうと思ひます。

### 鮎川の特別手當と國分の出荷組合

**黒澤(鮎川)** 統計事務に御造詣深い先輩各位の前で經驗に乏しい私如きが彼是れ申上げますことは誠に僭越でありますが、従來農業に従事してゐる調査員が激務の傍ら統計事務の最も重要な調査報告の任にあたります關係から往々にして繁務に追はれて報告の期を過ぎるが如きことあり、ありますのはその職責を輕んずるのではなくて已むに已まれぬ結果ではあ

になつてをりますので、耕地の移動が非常に多い、例へばツイ先頃迄に甲が耕作してゐた筈なのに今日では全然別な人が耕作してゐる、しかもそれが何處の誰であるか近所の耕作者にたつねても判らない、地主に訊いてやつとわかるといふやうなのが澤山あるのです、なぜそんなに移動が激しいかと申しますと全然百姓でない工業地帯に働く人達が早くいへば興味半分で土地を借りて百姓のマネをするといつたやうな關係から少しばかりづゝソツチにもコツチにも移動するのです、その結果は作付反別と結果表の反別との相違となり、これを見わけけるのに相當困難を來たすのです、も一つは作付種類が澤山なので——例へば一つの耕地でもソツチの方には麥が作つてある、コツチの端には芋がある、葱を作る瓜を作るといふ具合で五種も六種も作つてあるので作付反別を出すの

りますまいか、専ら事務に當つてゐる私共でさへ時に多少の遅延あるは免れぬのであります、要するに私は調査員の念頭から如何にせば統計調査事務の觀念を離さないことが出来るかに心がけることが肝要であると考えへまして調査員の特別手當支給規程なるものを設け勉勵褒賞の意味で特別手當を支給することにしてをります、始めてからまだ滿一ヶ年を経過したばかりで結果をお話するまでにはまゐりませんが従來に比し正確になつた事だけは申上げられます、各調査員は支給される特別手當を望んでゐるのでなく成績順位を公表するによる自責の念に基くものと思はれます(参考に規程をくばる)

**椎名(櫛形)** 鮎川の特別手當の如きも調査員が若い人であれば感激を多分に持つてをりますから相當効果が御座いませうが私の村などにはどうかやめさせてくれといふやうな者が

にもかなり苦心をしてゐます。

**長山(國分)** 作付種類の多いのにはどこでも困難を感じてゐます、近頃園藝が發展しまして名も知れぬものを作られるので閉口することがあります。

**大内(日立)** 私の町では坪刈をやると同時に其の坪刈の箇所を實測して全刈をやつて見ましたが坪刈の結果は普通どうしても一割二分位の増収に出る、それから作柄を農家に就てきいてみると他町村内のと自町村内のとを一緒くたにいられるのでどうもわからなくなる、坪刈は一割乃至一割五分を引いてやるとよく合うやうに思はれます。

**成瀬(縣屬)** 何れの町村でも收穫高に就ては慎重に調査して居るのに坪刈の結果を其の儘計算した様に言ひふらし彼れ此れ論議するのは困つたものですね。

**長山(國分)** 集計には従來の小票を

あるのですから特別手當を出しても  
なか／＼動きません。

**長山(國分)** 調査員は若い人がよい  
年をとるとどうも横着になつてなか  
／＼動かないので私の方では報告期  
限を早くしておいて毎日／＼小使を  
歩かせ調査員とコン競べをさせてら  
ます。

**椎名(楡形)** 私の方では遅い人の處  
へは小使をやつて待たせておいて  
つて來させるやうにしてゐます。持  
**長山(國分)** この機會におきまして

私は最近異常の發達をとげました本  
村の蔬菜園藝と統計の關係について  
お話し上げたい、私の村では近年著  
るしく蔬菜園藝が發達して年産莫大  
な額に上つてをります、勿論促成が  
大部分を占めてをりますが、その結  
果昨年から出荷組合が出来て組合が  
優良種子を組合員に配付し組合員は  
これによつて培養した品物を組合を  
通じて賣出すことになりました、地

方の青物商等に直接販賣するものも  
多少はありますが殆んど全部が組合  
を経て販賣されてをります、それゆ  
ゑ組合へ行けば栽培反別も收穫量も  
何もかも詳細にわかるのです、例の  
一寸ソラマメの如きも組合から直接  
東京へ送つてゐるから凡てが組合で  
わかる、かうした組合はわれ／＼の

### 統計調査員鼻高々

◇昭和九年は本縣にとつてまことに  
ゴ難な年であつた、降雹、旱害、暴  
風また冷害といふのだから大抵あき  
れる、そこで之が對策についてもま  
たいろ／＼と方法等が講ぜられたが  
茲に一つの面白いエピソードがある  
◇當時旱害の免租地を調査に土浦稅  
務署の官吏が新治郡美並村へ出張に  
及んだものだ、何しろ同村には四町  
三反歩餘のヒドイ旱害地があるのだ  
が役場や區長さんでは点々たる現地  
が一向不明で字切圖をひろげてみた  
ところ境界もわからない、されば  
といつてそのまゝには勿論過ごされ

ためには非常な助けになるのであり  
ます、將來大小麥の如きもかうした  
販賣統制が行はれるやうになります  
ればまことに結構なことゝ存じます  
**成瀬(縣屬)** いろ／＼と有益なお話  
を伺ひまして有難う御座います、本  
日はこの程度に止めておきたいと思  
ひます。

ない

◇とつおいつ思案の末役場員のアマ  
マに浮んだのが統計調査員だ、あの  
人達なら平素ほんとうに田畑に親ん  
でゐるから何とか方法もあらうと調  
査員に相談を持ちかけると、調査員  
諸君は待つてましたとばかり、忽ち  
調査を完成してお目につけたから、  
あまりの敏速さに役場員も稅務官吏  
も且つ驚き且つ喜び稅務署からは山  
口、古川、小野、飯塚の各調査員に  
懇切な感謝状を送つて來たそうだ、  
◇それも調査員諸君が平素一筆毎に  
苦心して實地調査をしてゐたればこ  
その賜ものではあるまいか。



## 實務道場

# 統計調査の栞 [2]

統計が進歩し、統計が利用されること  
よつてはしめて完全なる國策は生れる

## 學事年報製表方に就て

學事年報は教育行政上最も重要なも  
ので其の正否は學事施設上に甚大な影  
響を及ぼす事は何人も悉知する處であ  
りまして、各市町村役場並學校共夫々  
御配慮中の事とは御推察致し居ります  
が毎年施行する集合査閱の結果を觀ま  
するのに、中には調査材料の不完全な  
ものを持參する方、又は縣より滯牒の

書類を持參しない方、折角製表を持參  
しましても其内容全く減茶苦茶で他町  
村に迷惑を懸けるやうなものもあつた  
のです、之は要するに法規の研究と調  
査の時期並に不斷の書類の整理が不充  
分に基因するものであると思ひます、  
依つて調査に際しては基礎帳簿を完全  
に整理し、規程を熟讀の上製表すると

共に尙左記事項を参考となし完全に製  
表せられますやう希望いたします。

### □ 一般の注意

一、調査を始める前に法規を良く研究  
し調査の時期乃ち何月何日現在又は  
何年度の調査と云ふ事に注意し、基  
礎帳簿を完全にする  
一、三月一日現在の調査に於て三月末  
日限り廢止及廢校の場合は三月末日  
の最終時迄存在して居るのですから  
生徒のない場合でも年度内に入學退